



デジタルアートワークショップ

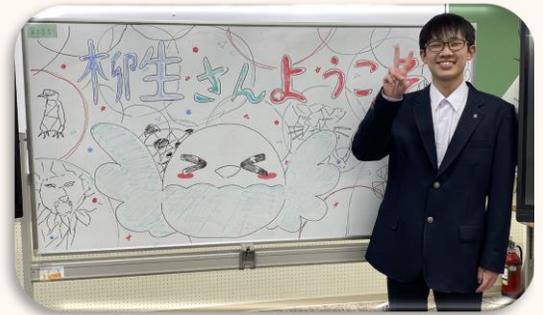
2025年2月17日(月) 東京都立青鳥特別支援学校

活動レポート

2025年2月17日(月)、東京都立青鳥特別支援学校で、デジタルアートワークショップを開催しました。講師に柳生千裕さんを迎え、高等部職能開発科2年生19名が美術の授業でタブレット端末を使って彩色するデジタルアート制作に初挑戦しました。

ワークショップスタート 柳生さんの活動紹介

これまでの作品紹介を含め、ルーラーアートの制作の進め方や作品の制作風景の動画を交えて紹介しました。柳生さんの作品作りで欠かせない定規(ルーラー)は4種類使っていること、彩色には約300本のペンを使っているというお話を生徒達はとても興味深そうに聞いていました。

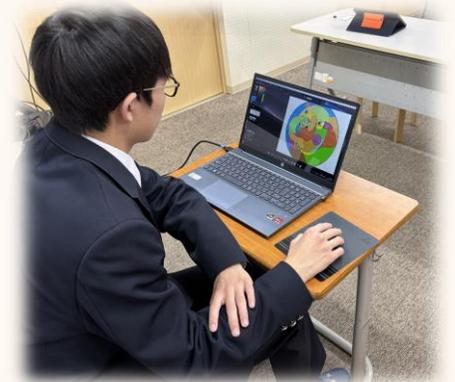


柳生 千裕(やぎゅう ちひろ)さん

ルーラーアート作家。兵庫県西宮市在住の高校1年生。5歳の時に自閉症スペクトラム(ASD)と診断。9歳から創作活動を開始し、「見た人が楽しく元気になる」絵を目標に描く。

アプリの使い方説明

今回のワークショップはタブレット端末用の描画ソフトを使い、柳生さんが用意した線画に彩色を施す活動です。線画はライオン、イヌ、チンパンジー、コビトカバの4種類。コビトカバは今回のワークショップのために柳生さんが描き下ろしてくれました。柳生さんから基本の彩色方法や彩色のポイントのレクチャーを受け、いよいよ制作開始です！



柳生さんも一緒に作品作りをしながら彩色方法をレクチャー



柳生さん提供の4種類の線画 新作の「コビトカバ」も登場！

制作活動スタート

好きな線画を選び活動が始まると、作品の完成形をイメージしながら作る生徒もいれば、思いおもいに大胆に色付けする生徒もいて、皆、制作活動に集中していました。また、早く進んだ生徒は、2つ目、3つ目の線画の制作に取り組みました。



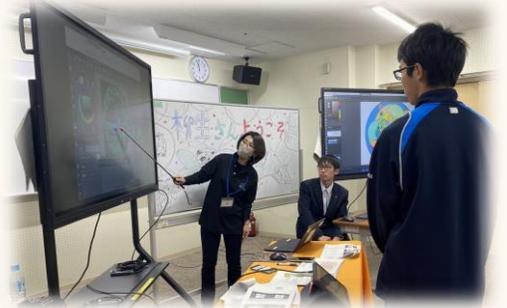
真剣な面持ちで制作に取り組む生徒達

作品発表と講師講評

制作活動の後は作品発表です！
どんなテーマで制作したか、どんな所を工夫したか等、作品づくりの思いも交えて、発表しました。

テーマをもって制作した作品では、推しのアイドルのイメージカラーを使って彩色した生徒や線画のパーツ毎に海や水、森などをイメージして制作する生徒もいました。

柳生さんからは、「皆、彩色に工夫が見られ、個性的な作品ばかりでとても刺激を受けました」との講評をいただきました。



作品で工夫した点を説明する生徒

柳生さんとの交流

ワークショップの最後は柳生さんとの交流タイムです。生徒と柳生さんのQ&Aコーナーでは以下のやり取りがありました。

- Q1:今まで制作した作品で一番好きな作品は？
A1: SNS で描いて欲しいと依頼を受けて制作した作品で、沖縄の世界遺産「首里城」です。
Q2:一番描きたい絵は？
A2:動物の作品が大好きで、中でも象が一番好きです。
Q3:海外の建造物も描いた作品はありますか？
A3:フランスのノートルダム大聖堂。3か月程で制作しました。など

最後に、生徒の皆さんから柳生さんに温かいお礼のメッセージと共に手作りのクッキーやケーキが贈られました。

初のデジタルアート制作に挑戦した生徒達は、アーティスト活動もしている柳生さんからの刺激を受け、個性溢れる作品が完成しました。作品を通して自己表現の実現に繋がる美術の授業となりました。



代表者2名からお礼の贈呈

ワークショップ終了

— 先生にワークショップ実施後の感想を伺いました —

柳生さんがデザインされた4種類の線画データをもとに、自由な発想で色を組み合わせ、個性あふれる素敵な作品が出来上がりました。一人ひとりが高い集中力をもって工夫を凝らし、彩色を楽しむ様子が印象的でした。



美術担当の佐藤 仁美先生

